

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		畑地帯総合整備事業						予算事業名		畑地帯総合整備事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	土地改良法					
				06	01	07	20	経常経費							
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業					
		特色ある農業の振興と活性化													
		農村環境の保全						担当課係等		農政課 農地整備係					
事業期間		継続 (平成28年度～令和 7年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
武井地区において、霞ヶ浦農業用水を導入し、畑地を主体とした基盤整備を実施し、農地の集団化や農道整備を行うことにより、農作業の効率化や生産性の向上を図るとともに、担い手農家の育成を図る。								武井地区の畑地については区画形状が悪く、道路が狭いうえ、排水もよくないことから、総合的な圃場整備の機運が高まってきたため。なお、近隣の江川新宿地区においても、同様の事業によって、圃場が整備された。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
県営事業として実施する農地の区画整理、農道整備、用排水整備等の総合的整備に対し、事業費の一部を負担する。								受益者及び受益地（武井地区）							
								【事業をとりまく環境の変化】 平成28年度に武井地区県営畑地帯総合整備事業推進協議会が設立され、法手続きを経て平成31年2月に事業計画が決定し、令和2年度から工事に着手した。 現在は、1期、2期とも水田部の区画整理工、用水施設工事を進めており、畑部は埋蔵文化財調査後に着手することとなる。 事業完了は令和7年度を予定しているが、予算や計画変更によっては延長する可能性がある。							
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】							
武井1期地区：区画整理工 武井2期地区：区画整理工				武井1期地区：区画整理工 武井2期地区：区画整理工				武井1期地区：区画整理工 武井2期地区：区画整理工							

■事業費

		R03年度		R04年度				
財源内訳	国庫支出金	0		0				
	県支出金	0		0				
	地方債	32,700		32,200				
	その他	0		0				
	一般財源	25,810		36,300				
歳入計（千円）		58,510		68,500				
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）			
	18 負担金補助及び交付金		58,510		68,500			
歳出計（千円）（A）		58,510		68,500				
伸び率（％）				17.07				
備考	総合計画85ページ 予算書134ページ							

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	推進協議会の開催	回	目標	4.00	4.00	4.00
	総会・役員会等		実績	4.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率	%	目標	30.42	54.41	75.26
	区画整理・用排水工事		実績	32.63	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	武井地区の畑地は区画形状が悪く道路も狭いため、将来に向けて、農作業の効率化や生産性の向上を図るためには大規模な圃場整備を行い、担い手農家を育成する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	事業規模により実施主体は県であるが、地元で推進協議会を設立し、農家や地域住民の意向を集約し、県や市と連携を図りながら事業を進めている。
	手段の妥当性	A 妥当である	霞ヶ浦用水事業は受益地において、同様の手法で組織を設立し、県や市と連携を図りながら事業を進めている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	事業が工事に着手して、工事委員会や換地委員会などの推進協議会諸会合等が必然的に多くなっていることから、事業に費やす人員は高まってきている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	事業計画申請時に関係する地権者（受益者）から同意を得て事業を進めているので、受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	区画整理工事が本格的に着手し、水田部については大区画が図られている。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	埋蔵文化財調査等により工事施工が遅延している。また、予算確保の状況によっては、完了予定が延びる可能性がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
大規模な工事が行われていることから、多額の事業費を要するため、引き続き国県へ予算要望をしていくとともに、地元と調整を図りながら事業を進めていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今後、埋蔵文化財調査後に畑地の区画整理工に入ることから、農作物の作付に影響が出ないよう、県や地元の推進協議会と連携を図りながら早期の事業完了を目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 畑地の区画整理工は農作物の作付に影響がでることが予想されるため、実施主体である県や地元の推進協議会と連携を図りながら事業を進めていくとともに事業の早期完了を目指す。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。